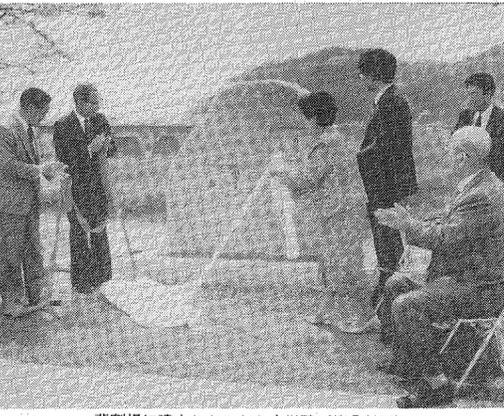


やわた文学碑を建立

5基目

男山の風情伝える



背割堤に建立したやわた文学碑 (第5基目) の除幕をする西村市長 (左から2人目) ら

背割堤に其角と荷今の句碑

市役所60周年を記念して、やわた文学碑建立事業の第5基目として、其角(金かぐ)と荷今(かひ)の句碑を4月1日、木津、宇治、桂の三川が流す背割堤の河口付近に建立。関係者約20人が出席し除幕式を行った。

句碑は高さ約1.4メートル、幅約1.4メートル、厚さ約0.15メートルの石を、背割堤の頂上付近に建立。其角(1887-1971)の「新やわたの春」の句、荷今(1887-1971)の「新やわたの春」の句が刻まれている。句碑の建立は、背割堤の風景を伝えるとともに、やわたの歴史を伝える役割を果たす。

ふるさとバスを購入

市民活動の推進に活用

分譲し、河川沿いの背割堤に「ふるさとバス」を購入し、市民活動の推進に活用する。購入したバスは、市民活動の推進に活用する。購入したバスは、市民活動の推進に活用する。

ふるさとバスは、市民活動の推進に活用する。購入したバスは、市民活動の推進に活用する。



ふるさとバスの発車を祝う参加者

近隣公園を開放

家族で気軽にスポーツを

市民活動の推進に活用する。購入したバスは、市民活動の推進に活用する。

近隣公園を開放し、家族で気軽にスポーツを楽しむことができる。公園の開放は、市民活動の推進に活用する。



消防団長 藤本昌治氏

登校指導

「安全は 出せるスピード 出さない勇氣」を統一スローガンに、春の全国交通安全運動が4月6日から15日までの10日間、全国で展開されました。

市消防本部でも、駅前やバス停留所などで街頭広報をしたり、広報車を使って市内を循環し、市民に交通安全を呼び掛けました。交通安全推進のため活動している市交通安全都市推進協議会(小里光男会長、55人)は4月12日、各小学校の通学路のうち特に交通量の多い30カ所を、登校指導を行いました。

この登校指導は、春・秋の交通安全運動期間と夏休み明けの年3回、子供たちの交通安全意識を高め、交通事故防止を図るため、7時半から8時半まで実施しており、中でも一番交通量の多い八幡東小学校前の横断歩道にはこの日、5人の委員が出て交通安全指導員とともに子供たちに横断歩道の渡り方などを指導しました。

子供や高齢者といった交通弱者を事故から守るため、ドライバーのみなさんも交通ルールを守り十分ご注意ください。

交通災害共済

市民のみなさんの思いがけない交通事故に備えて、京都府の市町村が共同で交通災害共済という制度を作っています。1人500円の掛け金で、もしもの際は最高120万円までの見舞金が支給されます。

市内に住んでおられる人なら、だれでも加入できます。加入する人は、午前9時から午後4時30分まで(ただし、土曜日の午後、日曜日、祝日は除く)に、市消防本部総務課(☎983-14119)へお越しください。



山手幹線の供用開始区域図

市道山手幹線の一部供用を開始。利用がますます増える。

市道山手幹線の一部供用を開始。利用がますます増える。

消防団のポン

プ2車2台更新

消防団のポンプ車2台更新。新車が2台導入される。

消防団のポンプ車2台更新。新車が2台導入される。

市長の手帳から

この新年に、九〇年代と九〇年代と、二十世紀を代表する年を迎えました。市長の手帳から、市民生活の現状や課題について語ります。

この新年に、九〇年代と九〇年代と、二十世紀を代表する年を迎えました。市長の手帳から、市民生活の現状や課題について語ります。

鳥と虫の実態を調査

市内に在住または在勤の人(ただし、18歳未満の人は保護者の同意が必要)に、鳥と虫の調査員を募集します。

調査員募集要項: 調査期間 平成2年6月から平成3年3月まで(10カ月間) 調査場所は市内全域 調査方法は希望調査 募集方法は、氏名、性別、生年月日、職業、電話番号、調査経験などを記入し、〒814-0814 八幡市企画部企画課へお問い合わせください。詳しくは、市企画部企画課(☎983-1111)内線315へ。

バード・ウォッチング

参加者募集。自然観察会に参加する。

バード・ウォッチング参加者募集。自然観察会に参加する。

機関紙づくり講習会

PTA、自治会などで発行されている機関紙は、会員相互の情報源や意志疎通などの手段として、極めて重要なもののひとつです。しかし、機関紙づくりには、ちょっとした約束ごとがあり、また、それに携わる役員の任期も短いことなど、なかなか苦勞されているようです。そこで「広報やわた」の編集スタッフが、機関紙づくりについてわかりやすくアドバイスします。受講は無料です。

日時 5月15日(火) 午前9時から午後4時まで
 会場 市役所4階 定員 40人(各団体4人まで)
 申し込み 5月14日までに市企画部秘書広報課(☎983-1111)内線310へ電話
 当日持参するもの 鉛筆、赤鉛筆、定規、カッターナイフ、はさみ、のり、消しゴム、サインペン、新聞紙、機関紙、国語辞典など。

ふたごの家族の住む「やわた」

ふたごの家族の住む「やわた」。市民生活の現状や課題について語ります。

ふたごの家族の住む「やわた」。市民生活の現状や課題について語ります。

